

2025 年 12 月 9 日
東日本旅客鉄道株式会社

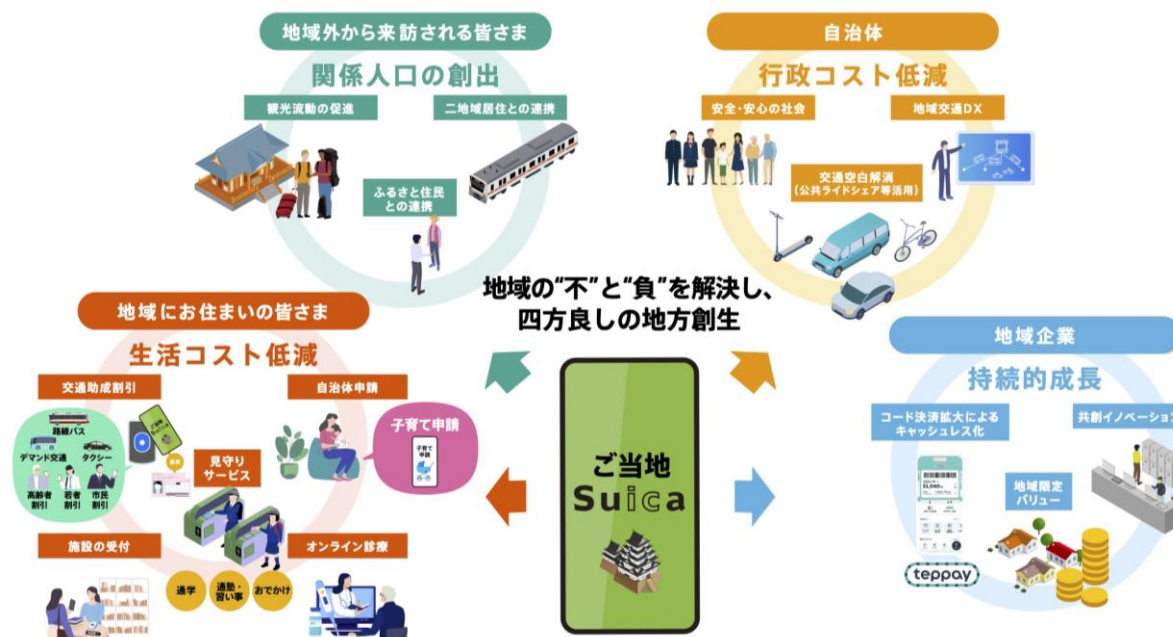
「Suica Renaissance」第3弾

～「ご当地 Suica」で地域の“不”^ふと“負”^ふを解決し、“豊”^ふを創出します～

- JR 東日本グループは、グループ経営ビジョン「勇翔 2034」で掲げるライフスタイル・トランスフォーメーション（LX）の実現を目指し、Suica を「移動と少額決済のデバイス」から「生活のデバイス」へ進化させます。
- その一環として自治体や地域の皆さまとともに、マイナンバーカードと連携したモバイル Suica に地域独自の MaaS（Mobility as a Service）と生活サービスを一体化させた「ご当地 Suica」を創造します。これにより地域に点在する“不”（不便・不安）と“負”（負担・負荷）という課題を解決した、地域の新しい当たり前を創り、地域生活の“豊”を創出していきます。
- 2027 年春には、「ご当地 Suica」のサービスを群馬県と宮城県で先行スタートします。

1. 「ご当地 Suica」が地域の新しい当たり前を創ります

地域社会は、人口減少や少子高齢化を背景に、移動をはじめとした地域生活の“不”便や“負”担の拡大等の課題に直面しています。JR 東日本グループは、マイナンバーカードと連携したモバイル Suica により、地域にお住まいの皆さまにとっての生活コスト低減、地域外から来訪される皆さまにとっての新たな利便性（関係人口等）の創出、自治体にとっての行政コスト低減、地域企業にとっての持続的成長、それぞれの“不”と“負”を解決し、四方良しの地方創生を実現します。



地域の新しい当たり前を創り、地域生活の“豊”を創出

2. 「ご当地 Suica」で地域の DX を促進します

モバイル Suica とマイナンバーカードの連携により、Suica 機能に加えて、地域に最適化された MaaS 機能※と生活サービス機能を提供し、地域を DX していきます。なお、既にモバイル Suica をご利用の方は新たなアプリダウンロードが不要でそのまま「ご当地 Suica」のサービスを開始できます。

※ 地域連携 IC カードとの連携は今後検討を進めていきます

（1）持続可能な MaaS を伴走型で実現します

MaaS 機能により、地域の移動における“不”便や“負”担を解決します。具体的には、Suica をタッチするだけで居住地・年齢等に応じた交通助成割引を受けることが可能となります。また、通常の経路検索に加えて、地域独自のモビリティ（デマンド交通やシェアサイクル等）を含めエリアを網羅したリアルタイム経路検索※とシームレスな予約を実現します。さらに、公共ライドシェアや児童・生徒の塾や部活動、学童における送迎等、地域モビリティの実装支援を行い、交通空白を解消していきます。

※ リアルタイム経路検索：交通の遅れ情報を反映した経路検索



（2）生活サービスを DX します

生活サービス機能により、皆さまの地域生活の“不”便や“負”担を解決します。例えば子育て申請において、従来は平日に会社を休み申請書を提出するために自治体窓口に行かなければならないところ、本機能でオンライン申請が可能となるため、時間と場所の制約が無くなります。さらに、給付金申請のほか、自治体からのお知らせや公共施設・医療機関の受付、避難所での入退管理による効率的な救援物資の配布や安否確認等の防災サービスまで、地域生活に不可欠な情報連携・利用サービスを一体で提供することを目指します。



3. 「ご当地 OS」によりデジタルな地域社会を創ります

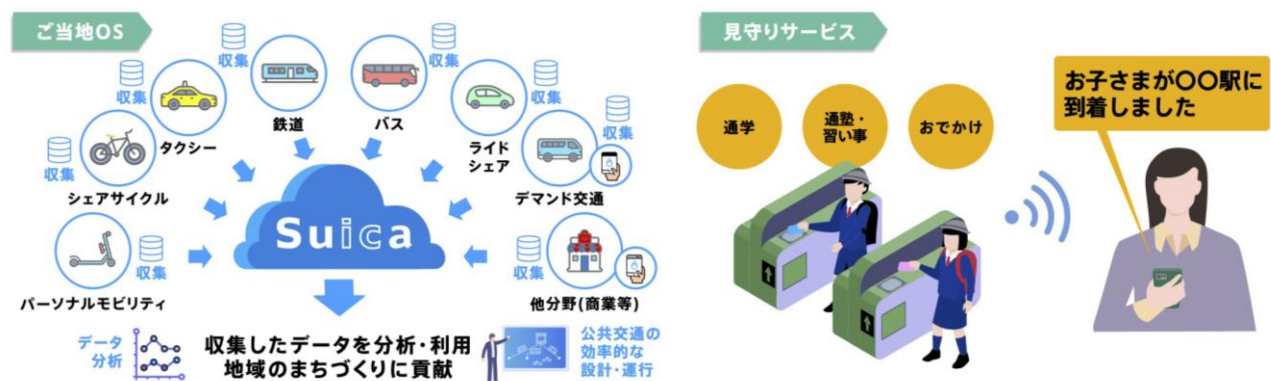
「ご当地 Suica」の移動データを活用した「ご当地 OS^{※1}」で更なる地域の DX を促進し、地域のまちづくりに貢献していきます。例えば地域全体の移動データを可視化し利用状況を把握することにより、その地域に応じた公共交通の効率的な設計・運行が可能となり、地域交通の“負”荷軽減を実現します。

また「teppay^{※2}」とも連携することで、コード決済に加え、特定の地域で利用できる「地域限定バリュー」や「地域クーポン」の活用により、キャッシュレス化を促進していきます。

さらに、Suica の移動データを活用することにより、様々な地域でのお子さまやお年寄りの見守りサービスにも対応した“お気遣い”サービスの実現を目指し、“不”安の無い安全・安心な社会を当たり前にします。

※1 ご当地 OS：都市 OS のご当地版

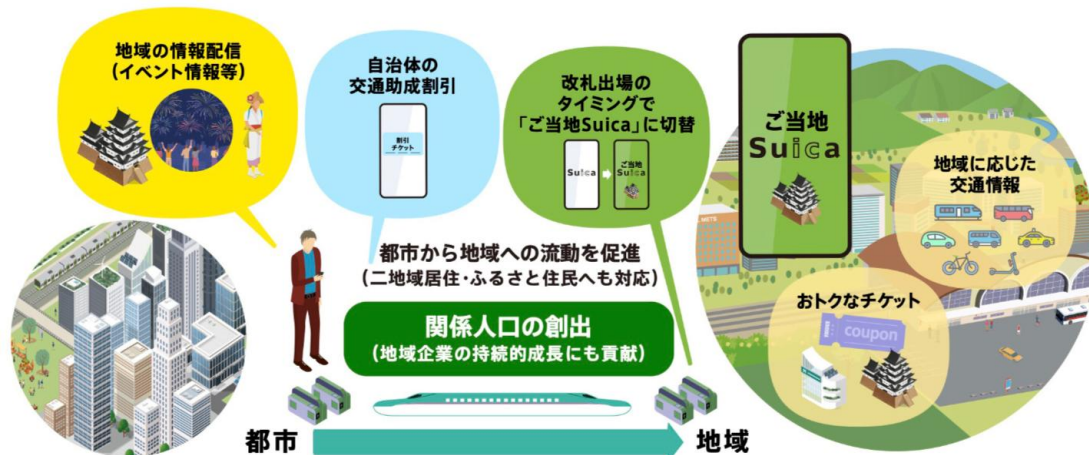
※2 teppay：2026 年秋（予定）より提供開始する新たなコード決済サービス



4. 「ご当地 Suica」で都市と地域をつなぎ関係人口を創ります

Suica のリアルタイムな移動データを活用し、改札を出場したタイミングでお持ちのモバイル Suica が地域の「ご当地 Suica」に切替わる機能を追加します。「ご当地 Suica」は観光型 MaaS の当たり前を超え、地域に応じた交通情報やおトクなチケット情報を取得・利用することができるため、慣れない土地でも“不”安なく移動いただけます。

「ご当地 Suica」は地域の情報配信チャネルとなり、都市と地域をつなぎます。さらに、二地域居住やふるさと住民へも対応し、都市から地域への関係人口の創出や移住を促進していきます。例えば、自治体からの助成を前提に、地域と都市間の移動や通勤・通学に要する交通費について、その地域独自の割引サービスや二地域居住等へ対応した独自のサービスにも対応できるようになります。



5. 「ご当地 Suica」は群馬県・宮城県からスタートします

2027 年春に群馬県内と宮城県内で「ご当地 Suica」を先行スタートします。JR 東日本グループの Suica、群馬県で育まれた MaaS（GunMaaS）、宮城県で実装されている生活サービスを組み合わせることで「ご当地 Suica」を実現し、両県における新しい当たり前を創ります。

「ご当地 Suica」は、地域の“不”と“負”を解決する「生活のデバイス」となり、地域の新しい当たり前を創ります。先行地域で磨いたモデルを各地へ広げ、地域の皆さまとともに地方の新しい“豊”を創出していきます。



～群馬県 山本一太知事からのメッセージ～

GunMaaS がモデルとなって全国に広がっていくのは誇らしいことで、群馬県と JR 東日本で MaaS の新たなカタチを作っていきたいと考えております。また JR 東日本との連携により、群馬県内の交通における様々なサービスの展開も期待しています。

～宮城県 村井嘉浩知事からのメッセージ～

このたび、「ご当地 Suica」の先行リリースがここ宮城県で実現することをお大変喜ばしく思います。本県の「みやぎ県民公式アプリポケットサイン」と効果的な連携を図ることで、JR 東日本とともに新たな価値を創出し、県民サービスのさらなる向上に努めてまいります。

【「ご当地 Suica」の導入に関するお問合せ先】

自治体の皆さまのご参画をお待ちしております。

部署：東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 「ご当地 Suica」担当

E-Mail: gotouchi-suica@jreast.co.jp

【別紙】

<今後のスケジュール>

ご当地 Suica

2027年春

○「ご当地Suica」サービス開始 ○ 群馬県、宮城県で先行スタート



2028年度以降

○ 機能拡張 ○ 導入エリア拡大



現在